

2026 オクラ

病害虫防除暦

2025.12.10時点の農業登録内容で作成

JA庄内たがわ

防除時期	対象病害虫	RAC コード	登録農薬名	希釈倍数	水100ℓ当 り薬剤量	使用時期	使用回数	備考
播種前	ネコブセンチュウ	I:1B	ネマトリンエース粒剤	全面土壌混和20kg/10a		播種前	1回	
	ネキリムシ類	I:1B	ダイアジノン粒剤5	土壌表面散布6kg/10a		収穫開始30日前まで	2回以内	
播種時～ 生育初期	苗立枯病 (ピシウム菌)	F:32	タチガレン液剤	500倍	200ml	播種時～発芽初期	2回以内	植穴または株元灌 注50～200ml/株
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	F:14	リゾレックス水和剤	1,000倍	100g	播種時及び 子葉展開時	2回以内	植穴土壌灌注 1ℓ/m ² (150ml/穴)
	ネキリムシ類	I:3A	ガードベイトA ※ ₁	株元散布3kg/10a		播種時～生育初期	3回以内	※ ₁ :ガードベイトAと アディオオン乳剤と 合わせて3回以内
生 育 期 の 収 穫 期	アブラムシ類 ハスモンヨトウ、カメムシ類	I:3A	アディオオン乳剤 ※ ₁	2,000倍	50ml	収穫前日まで		
	アブラムシ類	I:4A	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4,000倍	25g	収穫前日まで	3回以内	
		I:4A	ダントツ水溶剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	
		I:9B	チェス顆粒水和剤	6,000倍	16.6g	収穫前日まで	3回以内	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	I:13	コテツフロアブル(劇)	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ・ヨトウムシ	I:15	アタブロン乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	4回以内	
	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	I:28	プレバソンフロアブル5	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	
	ハスモンヨトウ	I:28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	2回以内	
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	I:30	グレーシア乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	
	葉枯細菌病	F:24 F:M01	カスミンボルドー	1,000倍	100g	収穫開始7日前まで	3回以内	
	うどんこ病・ハダニ類	I:UN F:M10	モレスタン水和剤	3,000倍	33.3g	収穫前日まで	3回以内	
	うどんこ病・黒斑病・葉すす病	F:3	トリフミン水和剤	5,000倍	20g	収穫前日まで	3回以内	
	黒斑病 灰色かび病	F:2	ロブラール水和剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	

適用除草剤

対象雑草	RAC コード	登録農薬名	使用薬剤量	使用時期	使用回数	備考
1年生雑草	H:10	バスタ液剤	300～500ml/10a 雑草茎葉散布	収穫前日まで (雑草生育期耕起前・ は種前又は畦間処理)	3回以内	散布液量 100～150ℓ/10a

農薬安全使用及び適正管理について！

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 圃地の適正な排水管理を行う。
3. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。

防除器具の農薬残留に留意！！

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。

○オクラ栽培時は、記載されている農薬以外は使用しない。

○ネキリムシの被害が多い方は、上記薬剤にて対応をお願いします。